

平成 23 年 4 月 25 日

加盟校大学スキー部  
部長 殿

社団法人全日本学生スキー連盟  
会長 栗田榮治  
「公印省略」

## インカレの見直しについて報告

### 改革目的

第 72 回大会をピークとし参加大学が減少した。それとともに参加選手も減少した。その反面、実施種目が増加し、大会日数が増加し、いわゆる肥満型となっていた。又、近年は降雪時期の遅れ、ユニバーシアド大会の日程の変更等外部環境の変化もあり、スリム化の必要があるため、総合的に見直しを行うことにした。

#### 1. 開催地の選定について

第 85 回大会地はすでに新潟県妙高市に決定

昨年実施した調査の結果は、いくつかの場所が名乗り出ている。

信越地区 2 回、その他地区 1 回の 3 年ローテーション基本として、86 回、87 回、88 回の 3 回の大会地を早く決定する事が望ましい。

#### 2. 開催期間について

2 月開催を基準にして実施したい。出来れば、国体前後が好ましいが、加盟大学の試験スケジュール、ユニバーシアド大会日程も調査し日程を決定すること。又、大会地の意向にも配慮する。

第 85 回大会については SAJ カレンダーの提出が急がれているため、2 月 20 日開会式の日程で SAJ に提出するが、後日、調整があり変動することが予想されるので決定次第、出来るだけ早く加盟大学に連絡する

#### 3. 学校構成部制度について

①男子：現状通り 1・2・3・4 部の構成とする。

4 部の主力がアルペン種目であり、4 部を 3 部に統合することは、アルペン競技ルール上無理である。逆に 3・4 部校にはさらにアルペン種目の参加を促し活性化する。

②女子：1・2 部構成(3 部を 2 部に統合する)

尚、所属部会費は平成 24 年度については、移行の特例として現行料金女子 2 部 3 万円、女子 3 部 1 万 5 千円を適用する。平成 25 年以降については今後検討する。

#### 4. 実施種目について

①アルペン種目：GS・SL 2種目

②クロスカントリー種目：スプリント・ロング又はショートを隔年・リレー 3種目

③ジャンプ種目：ノーマルヒル(男子1・2部、女子)・ミディアムヒル(男子3・4部)

④ノルデックコンバインド種目：男子1・2・3・4部グンダーセン方式1戦

但し、削減された競技種目は、インカレ以外の学連主催のチャンピオン大会で実施する。ジャンプ・コンバインド競技のチャンピオン大会の設置を検討する。

#### 5. エントリー数について

個人戦：アルペン種目・クロスカントリー種目・ジャンプ種目・ノルデックコンバインド種目は男子1部6名・2部5名・3部5名・4部5名  
女子1部5名・2部5名とする。

団体戦：リレー種目：男子1・2部4名(10K×4コンビCCFF)、3・4部3名(5Kxフリー)

：女子1部3名(5K×3コンビCFF)、2部3名(5Kxフリー)

上記エントリー数に追加して、補欠を3名認める。(エントリー時に明記)

#### 6. 得点制度・表彰について

①得点制度：男子1・2部・女子1部の個人戦及びリレー種目は現行通り。

但し、女子ジャンプについては出場選手数により減点する

：男子3・4部・女子2部の個人戦は参加人数の割合によって得点計算する。詳細な計算方法を各大学にアンケートしたうえで決定する。

②表彰：現行制度を継続する。

#### 7. 学生運営委員について

部員の減少が大きいため、現行制度は将来的に廃止する方向とする。

但し、85回大会は男子1・2部、女子1部については現状通り男子出場校1名、女子出場校1名とする。その他の部は極力委員の選出を依頼するが、強制しない。

#### 8. 実施時期について

第85回大会から実施する項目は2,3,4,5,6,7,とし、詳細についてさらにインカレ検討委員で継続検討する。

#### 9. 詳細未定の項目について、インカレ検討委員会で引き続き検討する。

以上